

平成 28 年度 事業報告書

自 平成 28 年 4 月 1 日

至 平成 29 年 3 月 31 日

社会福祉法人 豊生会
三恵保育園

平成28年度 三恵保育園事業報告書

1 保育園の運営

(1)定員 170名

(2)年齢別・月別入所児童数(各月初日現在)

年齢 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
乳 児	8	8	8	10	10	10	10	11	12	15	15	15	132
1～2歳児	49	50	50	50	50	48	50	50	50	50	50	50	597
3 歳 児	34	36	36	36	36	36	36	36	36	36	36	35	429
4歳以上児	76	75	75	75	75	75	76	77	77	76	76	76	909
計	167	169	169	171	171	169	172	174	175	177	177	176	2067

(3)職員数 平成28年度初 31名 平成28年度末 32名

(4)職員の異動

①採用 2名

②退職 3名

③休業 1名(6/14～産休育休) 1名

(5)職員会議等の開催状況

毎月2回開催し、保育当番以外の正規の職員が参加した。臨時職員においては、昼休みに行なわれる2回目の会議に保育の支障のない範囲で参加した。

子どもが安心して楽しめる環境づくりを目指し、各クラスの様子や保育の確認、行事等の打ち合わせを行ない、必要に応じて反省会を開き今後の課題として話し合った。

また、6月・10月・3月に給食会議を開き、給食室内部の不具合等を話し合い、より作業しやすい環境づくりに努めたり、残飯の量で子どもたちの食べ具合を確認したり、職員の意見を聞き、よりよい献立作りに努力した。アレルギー児においてはその子どもの経過を話し合った。

職員会議、給食会議の内容は、議事録として記録した後、翌日には回覧によって出席できなかった職員にも正確に伝わるようにした。

また、3ヶ月間の共通目標を職員から募り、投票で決定した目標については、期間終了月の会議で、クラスごとに結果を報告した。

2 保育の実施状況

(1) 保育・運営理念

- *子どもたちが「今日も来てよかった。明日も来たいな」と思える保育園
- *保護者が安心して子どもをあずけ、働ける保育園
- *地域から「あつて良かった」と感じ、言ってもらえる保育園

(2) 保育目標

- *温かな雰囲気の中で、互いの命を大切にできる安定した情緒を育てる。
- *様々な体験を通して、健康をはぐくみ、興味関心をもち、言葉や創造力を育てる。
- *高齢者や友達との関わりを通して道徳性の芽生えを培い、豊かな人間性を育てる。

(3) 保育時間

子ども・子育て支援新制度により、保育を必要とする子どもについては保育必要量の認定を行い、一日最大11時間施設を利用できる保育標準時間認定と、一日最大8時間施設を利用できる保育短時間認定の2種類に分けられる。

- *保育標準時間認定…午前7時30分～午後6時30分
(延長保育時間 午後6時30分～午後7時00分)
- *保育短時間認定……午前8時30分～午後4時30分
(延長保育時間 午前7時30分～午前8時30分
及び 午後4時30分～午後7時00分)

延長保育については、時間帯により延長保育利用料を徴収する。

(4) 保育内容

- ◎保育目標に基づき、子どもの情緒が安定した生活ができるような環境に配慮し、またひとりひとりが自己を十分発揮して、積極的に活動できるようにした。
- ◎基本的な生活習慣や集団生活に必要なルールを遊びの中で身につけさせていった。
- ◎マーチング・体育教室を通して、機敏な動作、正しい姿勢や責任感を身につけさせた。また、目標に向かって協力し合い、個々の役割を果たすことで達成感を味わい、クラスとしてのつながりを深めていった。
- ◎法人内の老人施設との交流において、老人に対するいたわりの心や親切、感謝などの気持ちを持たせていった。
- ◎長寿荘の移転に伴い従来の畑がなくなったため、今年は「ウエルク高崎」さんのご厚意により場所を提供していただき、年長児を中心にさつま芋苗植え(6/6)、じゃが芋掘り(6/29)、さつま芋掘り(9/27)を体験する事ができた。収穫したものは家に持ち帰ったり、昼食やおやつとして食べたりして食物への関心を深めていった。
食べ物に係る行事においては、給食職員が材料や作り方の手順及び行事の由来などを子どもたちに説明することで、より食に対する関心を持たせることができた。

◎行事は年間行事予定に従い行われた。中には園内で行う場所が確保できないために従来のやり方が出来ない行事もあった。

・三恵祭…縦割り保育でお店屋さんごっこを園児と職員のみで行った。

・運動会…中川小学校の体育館をお借りし行った。駐車場も広く、天候にも左右されずに広い場所で行うことができ、保護者からも大変喜ばれた。

◎0歳児室が完成し、定員を12名から15名に増員。明るく広い保育室の完成により、入所希望の問い合わせも多くなった。

◎遠足に参加しない未満児は、豊生会のマイクロバスで園外保育に出かけ、自然に触れることにより豊かな心を育てるようにした。

◎特別支援児童への対応

発達に心配のある児童については、クラス担任がその子どもの様子を把握した上で、高崎市で行なわれる発達巡回相談を利用して相談し、臨床発達心理士である久保園敏明先生と発達支援センター職員と共に園児の様子を観察し助言をいただいた。

また、保護者とも懇談する場を設け、家庭と保育園が一体となって園児の対応にあたっていけるよう配慮したり、対象児が通う施設へ担任が出掛け、指導の様子を見て療育について正しく理解をしたうえで、療育センターと連携を取っていった。

(5) 外部講師の指導状況

指導内容	講師名	指導日及び特記事項
鼓笛指導	稲垣摩美	毎月1回(年長・年中)
		6月の保育参観日には年長の保護者にも鼓笛体験をしていただいた。
体育指導	堤 彩乃	毎週水曜日(年長)・隔週水曜日(年中)
		運動会では、年長児の組体操を保護者のかたに観ていただいた。
英語指導	アレックス・フォン アルテンシュタット	毎週金曜日(年長)
		2月の保育参観日には、指導の様子を保護者にも観ていただいた。

(6) 実施した特別保育事業名

◎延長保育促進事業

◎保育所地域活動事業 世代間交流等事業

3 給食の実施状況

0～2歳児 完全給食に加え、10時と15時のおやつを実施

乳児については、家庭での離乳食の進行状況にあわせて進めた。

3～5歳児 完全給食に加え、15時のおやつを実施

- ◎近年、アレルギーを持つ子どもが増え、その種類も様々になってきた。混入や誤食を防ぐため、対象児のお盆や食器は専用の物をそれぞれ用意し、給食職員だけでなく職員全員が周知したうえで数人による確認を行った。
- ◎3時のおやつには、工夫を凝らした手作りのものを多く取り入れた。市販のものを利用する場合は、無添加のものを与えた。
- ◎年齢による咀嚼力の差を考慮しながら、あごの筋肉を鍛えるため噛み応えのあるものを提供した。
- ◎味付けは化学調味料を使用せず、素材の味・風味をいかした薄味にした。
- ◎入口付近にその日の献立を展示して、保護者にもわかりやすく伝えた。降園時には、親子で楽しそうに話している様子が見られた。
- ◎給食職員及び園長が時々保育室に入って園児と会食をし、会話の中で食に対する意識を高めた。そして、子どもたちの食べる様子を観察することで、その日の献立の反省などをリアルタイムで感じることができた。
また、食前食後の挨拶で感謝をしていただくという気持ちをもたせ、みんなで食べる楽しさや行儀面の意識を高めた。
- ◎保育参観では、人気のあるメニューのレシピを作成して、保護者にも給食に関心を持ってもらった。
- ◎群馬県健康づくり財団に年2回検体を提出し、7/12には黄色ブドウ球菌を、9/13には大腸菌群の検査を実施。いずれも異常なし。

4 健康管理の実施状況

(1) 児童

① 内科健診

年2回(6/23・11/24)園嘱託医による健康診断を実施。健診当日に欠席した児童は後日受診し、全園児の健康管理に努めた。

② 歯科検診

年1回(6/21)園嘱託医による健康診断を実施。検診当日に欠席した児童は後日受診し、全園児の健康管理に努めた。

③ 毎月身体測定を行い、計測値はおはようブックの身長体重測定表に記入。

④ 12月に手足口病、胃腸炎が流行り、また1月にはインフルエンザA型が流行った。いずれも10名以上の園児が発症したため、保健所と市役所・嘱託医に報告。インフルエンザについては、発生したクラスに体温記録表を配布し、おりこうメール等で注意を呼びかけて家庭との連携をとり園児の体調把握に努めた。

⑤ 市から配布される「ほけんだより」を配布・掲示して、健康管理や感染症などの注意を促した。

(2)職員

①定期健康診断

日高病院にて、職員が健康診断を7月～8月に実施。

(一般健診対象者が12名、政管生活習慣病予防健診対象者が19名)

②検便

月に1～2回(季節による)、高崎・地域医療センターに依頼し、「赤痢菌・サルモネラ菌・病原性大腸菌(O-157)」の検査を、給食職員・0歳児担当職員及び緊急時にサポート出来るよう主任保育士と主任事務員が交互に実施。全員異常なし。

③予防接種

ひぐち内科クリニックに依頼して、10月に全職員がインフルエンザ予防接種を受けた。

5 非常災害危機防止等防災訓練の実施状況

(1)避難訓練

*月1回避難訓練を行い、火災・地震等の災害を想定し、その状況に応じた誘導や避難することの重要性を指導。

*高崎市の補助金により、新入園児分の防災頭巾を購入し、訓練の際には全員が防災頭巾を装着して避難した。

*2月14日には、不審者侵入を想定した訓練を行なった。

*3月7日には北消防署員立会いのもと通報・消火・避難訓練をアミカルと共に実施。職員に対して実際に訓練用水消火器を使つての訓練も行い、避難時や誘導時また消火の際の留意点を再確認することが出来た。

(2)交通安全

高崎市交通地域安全課よる「幼児安全教室」が行われ、交通ルールについての指導を受けた。7月26日には、園内ホールにて4・5歳児を対象に交通安全について興味を持たせ、ルールを守ることの大切さの指導を受けた。

2月24日の交通公園での交通安全教室では、保護者会役員数名と共に年長児33名が交通の決まりに従った歩行練習などの指導を受けた。

6 研修

◎職員の外部研修会への参加状況

28・4・28	保育関係行政説明会	山崎
5・18	コーディネーター研修会「子どもを知る・親を知る」	金
27	新任職員研修会	矢内
6・1	個人支援会議	田中
10	プール管理講習会	矢内
11	ステップアップ研修会「新米栄養士の食育報告」	柳澤
14	普通救命講習会	矢内

15	コーディネーター研修会「気になる子どもへの関わり」	金
14～15	県外視察研修会「埼玉県 認定こども園 こどものもり」他	小野里
20	給食従事者研修会「災害時における給食施設のあり方」	清水
7・1	民間保育園協議会講演会「気になるこどものからだ」	土屋
13	コーディネーター研修会「コーディネーターの役割」	金
13	看護師保育士等研修会「乳幼児の発育・発達と育児支援」	小坂橋
20	認定こども園説明会	田中
26	給食従事者研修会「栄養管理・衛生管理の向上」	清水
26	健康・安全研修会「乳幼児の疾病・事故の応急処置」他	相原
30	発達障害支援研修会	小野里・矢内
8・20	実技講習会	小池・土屋
22	中堅保育士研修会「新任職員への提言・指導」	土屋
27	発達障害支援研修会	柳澤
30	男性保育士研修会「男性保育士に求められる保育の専門性」	柳澤
9・5	食物アレルギー講演会「食物アレルギー児への対応」	清水・小坂橋
5	防犯研修会	山崎
30	給食従事者研修会「基本的な栄養管理」	清水
13～14	保護者支援研修会「保護者理解の仕方・共感」他	佐藤
10・4	発達障害支援研修会	高橋
26	主任保育士研修会「保育課程・指導計画と日々の保育」他	浅川
11・11	コーディネータースキルアップ研修「支援の引き出しを増やそう」	長井
14	発達障害支援研修会「虐待事例でも共通する理解と支援の重要性」	小野里
15	群馬県社会福祉大会「生きてるだけで100点満点」	田中・高野
16	施設長運営研修会「新制度下、保育園運営、実践の課題」	山崎
12・6	コーディネータースキルアップ研修「事例検討1」	長井
29・1・17	会計事務説明会「社会福祉法人会計に係る主な指導事例」	田中
17	コーディネータースキルアップ研修「事例検討2」	長井
18	群馬県保育研究大会「新たな時代の保育実践」	相原
25	委託費にかかわる説明会	田中
2・6	障害児保育研修会	土屋
20～21	保護者支援研修会	阿部
22～23	保育士研修会「視察 東京ディズニーリゾート」	小池

その他

群馬整肢療護園視察…4・21(奥木)、5・16(奥木)、7・13(遠山・奥木)

7 保育実習生、中学生職場体験等の受け入れ状況

(1) 保育実習生

期 間	学 校 名	氏 名
28・7・25～8・6	東京福祉大学	下境絢子
28・8・22～8・14	群馬医療福祉大学	伊藤衣望
28・9・5～9・17	群馬医療福祉大学	木戸亮汰
28・9・6～9・21	育英短期大学	新井萌恵
28・11・14～11・29	群馬社会福祉専門学校	桑原柚紀
29・2・6～2・21	新島短期大学	山崎京花
28・5・301～11・18	高崎市医師会看護専門学校	83名(2日ずつ)

(2) 職場体験学習

期 間	学校名・学年	備 考
28・5・23～5・27	中尾中学校2年	4名

(3) ボランティア

期 間	時 間	学 校 名	氏 名
28・7・14、8・1～5	8:30～17:00	大原学園	石谷麻美
28・8・8～	8:30～17:00	群馬医療福祉大学	高橋穂乃華
28・8・16～23	8:30～16:30	東高等学校	柳原沙也加・金子愛

8 その他

*理事長のご厚意により、昨年に引き続き園外保育として、11/7にサンコー72カントリーへ年長児が出かけ、芝スキーやパットゴルフを楽しんだ。



*旧長寿荘跡地には豊生会の多目的広場(保育園園庭)を平成29年度に整備する予定。1/12には地鎮祭を行い、工事の安全を祈願した。

*6/20に1名、及び9/14に2名前橋保護観察所から来園。年中児の子どもたちと交流。

*10/1には長寿荘の落成式にて園児による鼓笛と職員による和太鼓を披露した。また、保育園園庭にて保護者会によるバザーや、豊生会職員による模擬店でにぎわった。

